特集

嘉穂総合高校って どんな学校？

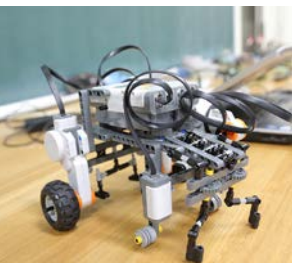
今年で創立10周年 嘉穂総合高校

福岡県立嘉穂総合高等学校（以下「嘉穂総合高校」）は、今年で10周年を迎える。嘉穂総合高校は、平成17年に山田高校・嘉穂工業高校・嘉穂中央高校の3校が統合して開校された総合型高校だ。

平成20年4月には、校舎を桂川町に移し、桂川町では唯一の高校となっている。

総合型高校とは、いくつかの異なる学科が並列して配置されており、教科や科目を学科間で相互に履修することができる学校だ。

嘉穂総合高校は、「普通科情報総合コース」「地球環境システム科」「ロボットシステム科」「ＩＴシステム科」という4つの科に分かれる。

どの科も一年次は基礎的な科目を学び、二年次からそれぞれの類型や専攻を選択して専門性を向上。三年次には、各自の興味、関心や進路に応じて学科の枠を越えた科目選択が可能になる。また、どの科においても、情報分野の教育を基調としているのも特徴だ。

嘉穂総合高校の生徒たちは、3年間で総合的な教育を受けながら、幅広い分野の知識・技術を習得していく。